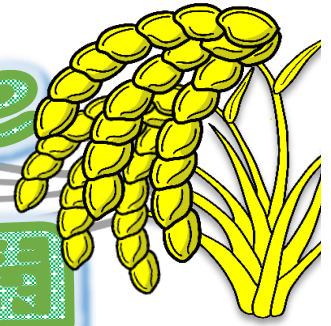




Agri Note

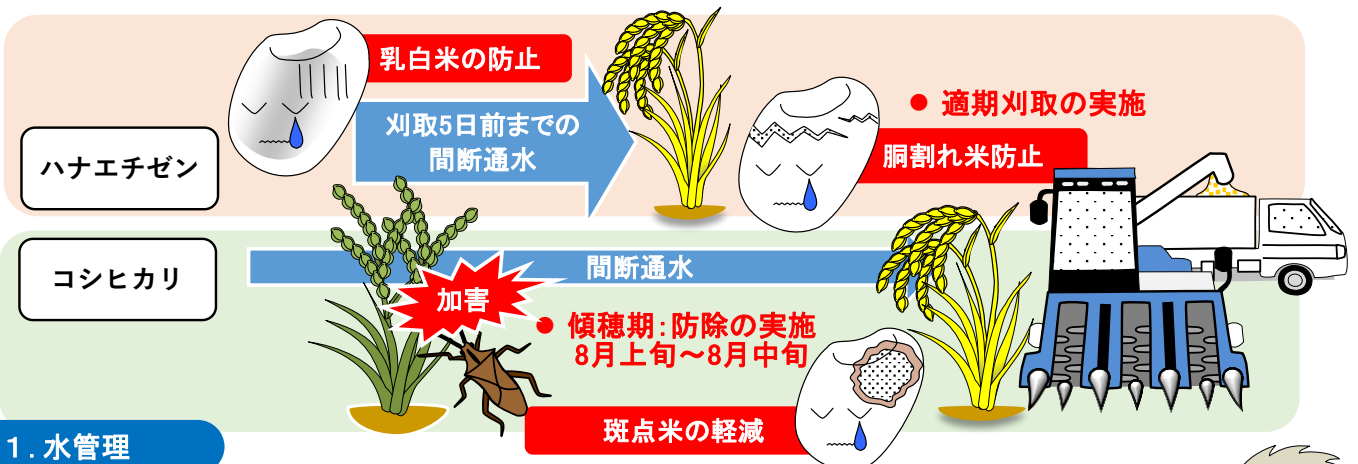
【アグリノート】

ハナエチゼン・コシヒカリ情報

田園

JA福井県

8月も厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。水稻の生育は7日ほど早く推移しております。出穂期以降の高温は胴割れ米のリスクを高めるため、間断通水の徹底と適期での刈り取りに特に注意しましょう。また斑点米カメムシ注意報が3年連続で発令されています。防除の徹底に努め斑点米被害を防ぎましょう。



1. 水管理

① 間断通水の実施 ～間断通水は刈取5日前まで～

間断通水は、稲の出穂期以降に重要とされ、根の老化を防ぎ、品質の良い米を収穫するために行います。その後しっかりと落水して刈取作業に備えます。



2. 適期刈取 ◆ 刈り遅れ防止

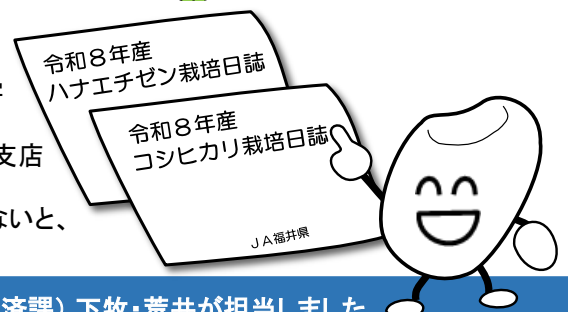
早刈りは食味の低下、遅刈りは胴割れ米の原因になります。適期刈取で品質アップを行いましょう。また雑草の多い圃場では、ヒエやクサネム等の種子の混入が懸念されます。コンバイン作業の支障にならないためにも早めに除去しましょう。

また刈取のタイミングは、
・籾の黄化率 85～90%以上（青籾10～15%以下）
・籾水分25%を下回る時期などでも計ることができます。

今年の夏は、気温が平年より高めに推移しているため、登熟も早まる
ことが予想されます。穂や籾をしっかりと確認し、適期刈取に努めてください。

3. 栽培日誌

- 肥料や農薬の使用量と使用期日を正確に書きましょう。
- 田植え日、刈り取り日（予定）の記載も忘れずに！しっかりと濃い字で記入してください。
- 栽培日誌の記入や提出についてご不明な点等ございましたら、各支店の営農指導員までお願いします。
- 栽培日誌の提出は福井米の定義です。栽培日誌を提出いただけないと、価格差の発生や出荷をお断りする場合があります。



今回のアグリノート田園は、勝山支店(営農経済課) 下牧・荒井が担当しました。